

ご 注 意

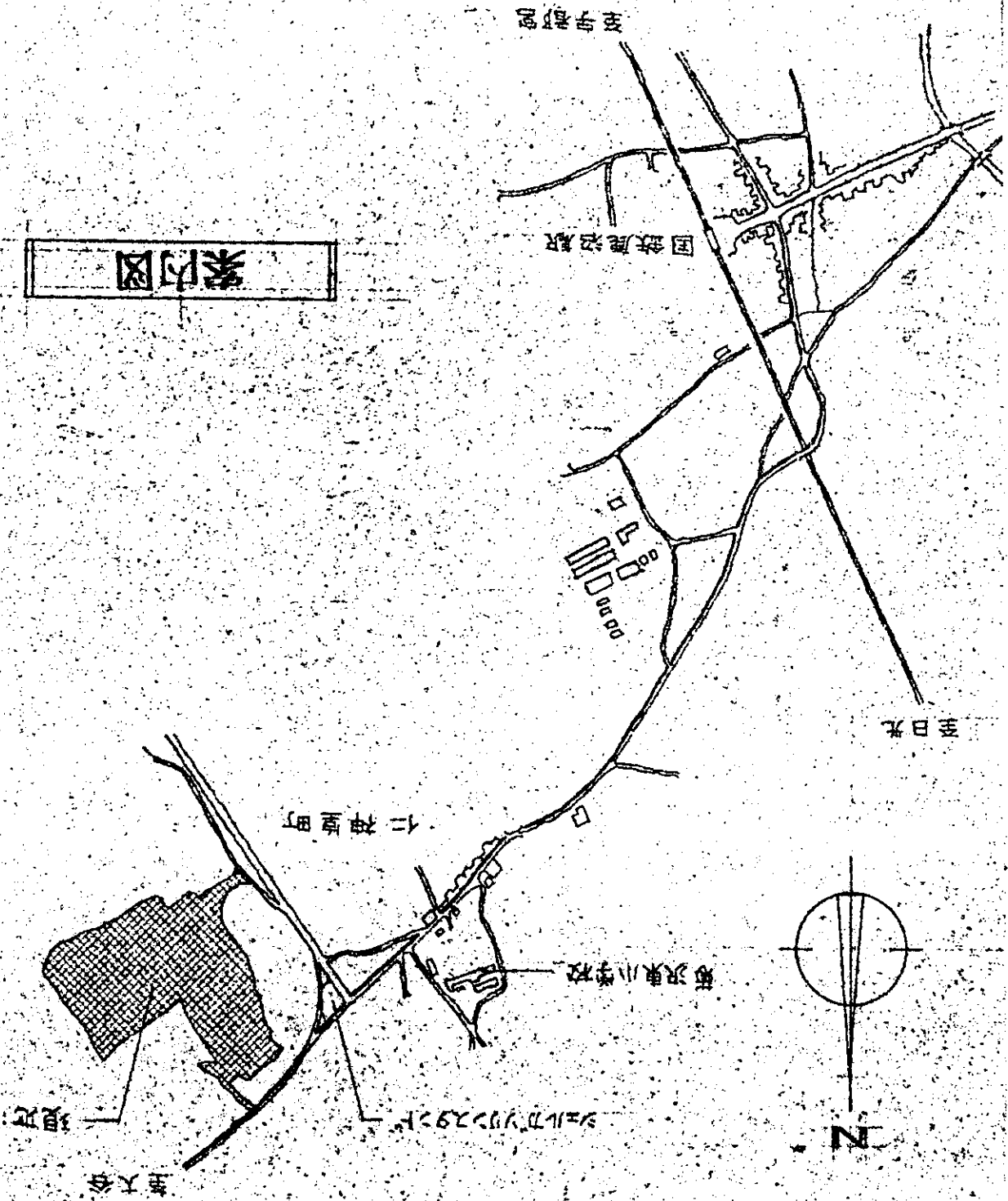
地盤の許容応力度及び基礎杭の許容支持力は、国土交通大臣の定める方法によって地盤調査を行い、その結果に基づき定めなければならないと規定されています。(建築基準法施行令第93条)

地盤構成並びに各地層の性状は、場所ごとに千差万別であることから、敷地（状況においてはその周辺も含めて）の地盤調査によって地盤構成等を的確に把握し、その結果に基づいて建物をどの地層に支持させるかを決定する必要があります。

したがって、本資料は計画段階における参考資料としてご利用ください。

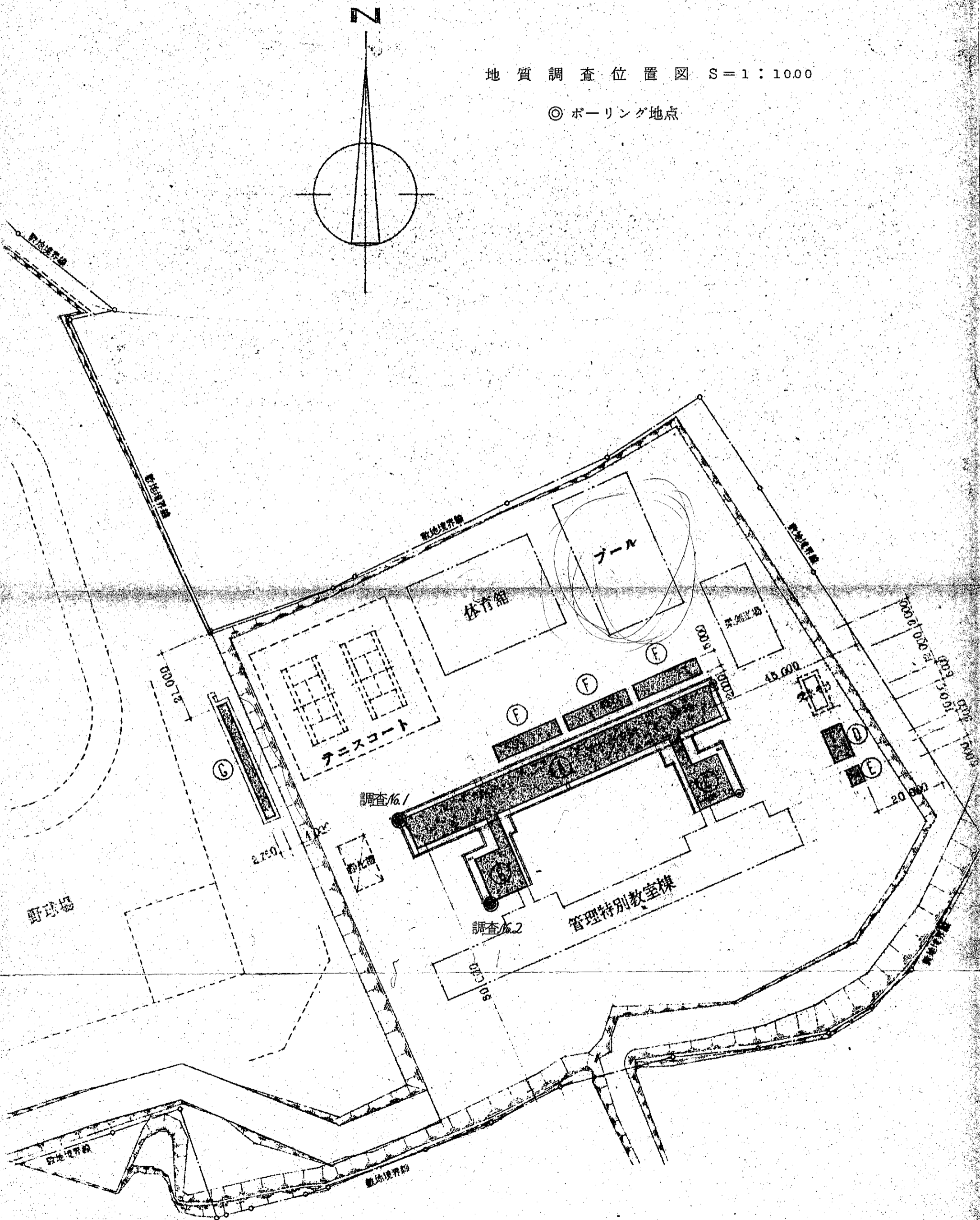
栃木県土木部建築課

案内図



地質調査位置図 S=1:1000

◎ ボーリング地点



ボーリング柱状図

調査名 宇都宮・鹿沼地区高等学校(仮称) 普通教室棟その他新築工事地質調査 孔番 No. №1 地盤高 168.84 m
 調査場所 栃木県鹿沼市千渡 (基準面 1.74)

地 形 _____ 摘要 _____

調査期間 昭和57年 / 月 日 ~ 月 日

地下(孔内)水位 GL-0.50m

調査担当者 _____

標地下水 高位 (m)	深 度 (m)	層 厚 (m)	土質記号	土 質	土 性		備 考	(註) 試 料		原 位 試 験 深 度 (m)	標準貫入試験 打 撃 回 数								
					色 調	相 対 密 度		番 号	記 号		採 取 深 度 (m)	0	10	20	30	40	50	60	70
▽	0.40	0.40	///	盛土	暗灰		岩崩等												
▽	1.90	1.15		風化帯	暗灰		礫状~砂状を呈す、 径10mm位 最大80mm位 1.40m~若干縮る。	1	9/11.5/4.10	1.15 1.45	21	○							
	3.60	1.70		粘板岩	暗灰		コア採取率10~20%位 砂状、粘土状を呈す、 径10~20mm位 最大70mm位	2	50%	2.15 2.79	50/4		○						
	4.75	1.15		粘板岩	暗灰		礫状半棒状を呈す、採取率10~50% 径10~60mm位	4	50%	4.15 4.16	50/11		○						
	5.15	0.40	V V V	砂岩	暗灰 灰色		若干粘土質礫状採取率20% 最大φ60mm位	5	50%	5.15 5.15	50/10		○						

